



**問** ブルーシートで  
災害対策になるのか

原田 久美子 議員



録画映像はこちら

**Q** 豪雨・土砂災害  
の恐れの高まる  
時期を前に、改めて市の  
減災・防災対策を確認し  
ておく必要がある。

昨年8月の豪雨により  
崩壊した太宰府高校のの  
り面だが、今もブルー  
シートがかけられたまま  
である。さらなる被災の  
防止対策はとられている  
のか。また太宰府高校に  
限らず、市内の危険箇所  
の点検はどのように行わ  
れているのか伺う。

**A** 部長 太宰府高  
校西側のり面  
は昨年豪雨で約70メー  
トルにわたり崩壊しまし  
た。県立高校ですので、  
復旧工事は福岡県が責任  
をもって行っています。

工事は3つの工区に分け  
て進められており、年末  
に完成する予定です。市  
でも随時状況を確認して  
います。市内の危険箇所  
については、毎年梅雨を  
前に災害発生予想危険箇  
所調査を行っています。  
今年5月25日に実施  
し、危険箇所のほか平成  
15年、平成30年の被災地  
の現況や復旧状況の確認  
を行っています。



太宰府高校のり面

**全質問項目**

- ◇災害復旧について
- ◇道路整備の進捗について



**問** 団地内の道路整備で  
安全確保を

長谷川 公成 議員



録画映像はこちら

**Q** 団地内の道路整  
備について安全  
確保の観点から3点伺う。

- ① 県道筑紫野筑穂線から  
高雄台・梅香苑の団地  
を抜け星ヶ丘交差点ま  
でを速度超過して通行  
する車両に対して減速  
を促す手立てはないか。
- ② 高雄南公園から団地内  
の市道において、ガス  
や水道管工事等による  
舗装復旧の状態が悪く  
歩行の妨げとなってお  
り、道路整備が必要と  
考えるが見解は。
- ③ 団地内の歩道の段差を  
なくし、より安全に安  
心してベビーカーがス  
ムーズに通れる歩道整  
備が必要と考えるが見  
解は。

**A** 部長 ①車両の  
減速対策として  
は、標識や路面標示、  
時間指定の一方通行、  
道路に狭窄箇所や屈曲  
箇所を設けるなど、道  
路の状況に応じた対応  
が考えられます。

- ② 工事等の終了時に現場  
を確認していますが、  
経年や車両通行による  
路盤沈下等で道路の凸  
凹も散見されます。補  
修が必要な箇所につい  
ては、計画的・機動的  
な道路補修に努めてい  
ます。
- ③ 幹線市道については、  
道路より15cm程度高い  
マウントアップ方式の  
歩道から高さを5cm程  
度とするセミフラット

**全質問項目**

- ◇団地内の道路整備について





**問** 指定管理契約の今後と課題改善状況  
神武綾 議員



録画映像はこちら

**Q** 令和4年度で指定管理契約業務が終了する施設の、来年度以降の管理見通しについて2点伺う。

**A** 理事 ①現在、施設の担当課において、市民サービスの向上と経費削減等の観点から分析、評価を行っている状況です。その上で、今まで以上に外部有識者の意見を取り入れながら、募集方式を決定したいと考えており、現時点では募集方式を決定していません。

②3年前の選定においては、施設老朽化や人件費について課題があるという理由で、公募によらない随意選定が行われたが、これらの課題は改善されたのか。

**A** 理事 ①現在の施設が置かれている状況や抱えている課題が同様ではなく、これらを適格に捉えることが重要と考えています。各施設の指定管理者の募集方式を検討するにあたっては、指定管理者から提出される報告



書や担当課の評価を踏まえながら、各施設が抱える課題の解消に取り組みます。

- 全質問項目**
- ◆指定管理者制度について
  - ◆自治基本条例について
  - ◆ヤングケアラーについて



**問** 本市の高齢者支援の現状と課題は  
徳永洋介 議員



録画映像はこちら

**Q** 太宰府市の総人口の内、65歳以上の人口は過去30年間で約3倍に増加し、今後も高齢化が進むことが見込まれている。また、要介護認定者数も同様である。本市の高齢者支援の現状と課題について3点伺う。

**A** 理事 ①日常生活で不安なことや困りごとがある場合は、地域包括支援センターや介護保険課が相談に応じています。来所が困難な場合は、まずは電話で相談を受けられることもできます。

②令和2年度に地域包括支援サブセンターが開所し、相談件数7106件、相談人数は1288人と大きく伸びています。

**A** 部長 ③死亡届を提出する際に、手続きについて分かりやすく記載した「おくやみパンフレット」を渡しています。また、後日来庁の際にお渡しする巡回用紙に



従い、順番に関係課を回っていただくことで、スムーズに手続きができるようになっていきます。

- 全質問項目**
- ◆本市の高齢者支援について
  - ◆住居表示について



**問** アレルギーや病気の対応は  
タコスキッド 議員



録画映像はこちら

**Q** 小・中学校におけるアレルギーや病気の対応について2点伺う。

**A** 理事 ①診断書の提出が義務となっているアレルギーや病気にはどのようなものがあるのか。②診断書の提出に係る手間や費用が家庭の負担になっている現状を把握されているのか。

**A** 理事 ①文部科学省のガイドラインにより、アナフィラキシー・食物アレルギー・気管支ぜんそく・アトピー性皮膚炎・アレルギー性結膜炎・アレルギー性鼻炎になります。

アレルギー疾患用の医師の所見の記入については、令和4年4月1日から医療情報提供として診療報酬の算定の対象となりましたので、提出が必要なお家庭の負担が減るのではないかと考えています。



- 全質問項目**
- ◆中学校完全給食について
  - ◆小・中学校におけるアレルギーや病気の対応について
  - ◆市街化調整区域について

※1件目の質問の答弁冒頭で市長が反問を行い、直ちに2件目に移行したことから、2件目を紙面に掲載しています。



**問** 広聴機能の充実に向けた取り組みは  
木村彰人 議員



録画映像はこちら

**Q** 広く市民の声を集める広聴活動は、以前に一般質問で取り上げたテーマであるが、その後の改善と取り組みに関して3点伺う。

**A** 副市長 ①市民の声を市政に反映する改善は図られたか。②コロナ禍で機能の低下が懸念される広聴機能が課題について。③広聴機能の拡充に向けての新たな取り組みについて。

**A** 副市長 ①ホームページのリニューアルに伴い、全ての記事ページに問合せフォームを設置し、どのページからでもご意見をいただけるように改善しました。寄せられた意見は関係部署で共有し、市政に反映できるように努めています。

②市長と語る会が開催できない状況ですが、ホームページや市民の意見箱からのご意見を中心に広聴業務を行っています。また市長自身、政治家としての日常活動を通じて、常々広聴機能を意識しながら取り組んでいます。

- 全質問項目**
- ◆広く市民の声を集める広聴活動について
  - ◆ウィズコロナ時代に本市が目指すべき観光のカタチについて



**問** 開かれた市政は情報公開の充実から

**Q** 太宰府市体育複合施設新築工事の情報開示に関する非公開処分を取り消しを求め

る訴訟において、非開示部分を開示すべき旨の判決が確定した。市が非公開とした処分が違法であると裁判所に認定され、非公開部分を開示することになる。この判決結果を受けて、今後の入札事務において同様の情報公開請求があった場合の本市の対応について伺う。

**A** 部長 見積書の見積価格について、今回と同様の情報開示請求がなされた場合には、個別に判断することが必要であると考えています。市が作成した文書を開示することで開かれた市政の推進に努めていますが、個人情報など保護すべき情報も含まれた文書については、太宰府市情報公開条例に基づき非公開とすべき情報が定められており、条例に即した厳格な対応が不可欠になります。今後も情報公開につきましては、より一層適切な対応に努めます。



建設中の太宰府市総合体育館



録画映像はこちら

**全質問項目**

- ◆太宰府市体育複合施設新築工事の情報公開請求に関わる非公開処分の取消を求める訴訟事件判決(福岡地判令和4年3月30日)と情報開示について
- ◆太宰府市まち・ひと・しごと創生総合戦略と太宰府市自治基本条例について

**Q** コロナ禍における原油価格、物価高騰に対する新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用について2点伺う。

①学校給食の保護者負担の軽減や、子ども食堂を行う民間団体の活動支援など、子どもの食や健康を守るための活用や、生活困窮者に対する支援に活用できないか。

**A** 理事・部長 ①ご提案の交付金の活用については、コロナの状況を見極めながら今後適時のタイミングで必要な補正をします。また、子ども食堂を運営している団体との情報交換会の中で、どのような支援が必要なのかご意見をいただきながら、今後の支援策について考えていきます。

**問** コロナ禍における支援状況は



録画映像はこちら

**全質問項目**

- ◆コロナ禍における原油価格、物価高騰に対する新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用について
- ◆子どもの権利条例を制定することについて



**問** 太宰府検定を再開しよう

**Q** 平成24年に始まった太宰府検定ですが、平成30年の第7回を最後に実施されていない。実施されなくなった理由と再開する考えがあるのかを伺う。

また、太宰府検定の過去問題は歴史と文化の町、まほろばの里・太宰府を知る貴重なものであり、地域への愛着、次世代の育成、地域の活性化に役立つ。太宰府検定期間の有効活用案を伺う。

**A** 課長 公益財団法人古都太宰府保存協会主催の太宰府検定は、市制30年を期する平成24年に始まりまして、600人を超える方が検定に応募しましたが、回を重ねるごとに応募者は減少し平成30年には193人、これが最終回となっています。今後多くの子どもたちが参加できる新しい形を考えたいということでしたので、再開されるなら市も協力を考えたいと思っています。



録画映像はこちら

過去の検定期間は協会のホームページで公開され、市民図書館では閲覧・貸出ができます。小学校での出前講座などでも活用されています。

**全質問項目**

- ◆太宰府検定について
- ◆中学校部活動について



**問** コロナ禍における支援状況は



録画映像はこちら

**Q** 太宰府市の日本遺産に関して、2015年の認定から今に至るまでの確認事項と市民の皆様にも再認識いただく観点から4点伺う。

①そもそも日本遺産とは何か。  
②本市の取り組みと周知等について。  
③ボランティア解説員等の人材育成について。  
④再審査となったことを受けての見解と、新たな取り組みについて。

**A** 課長 ①日本遺産とは、点在する文化財をパッケージ化し、個々をつなぐストーリーを日本遺産として認定し総合的に活用する取り組みを文化庁、観光庁など関係省庁で支援するものです。

②講演等の取り組みや解説サインの設置を実施しています。令和元年度のまちづくり市民意識調査で知っている割合が60・3%あることから一定の効果はあったと考えています。

③本市では昭和60年以来活躍いただいている大宰府史跡解説員制度をはじめ、団体からの要請で講話などを文化財

**問** 本市の日本遺産に関して



録画映像はこちら

課の専門職員が行うなど連携を図っています。④観光資源としての文化財の活用を実践するとともに、地域活性化へ結びつけるために西の都日本遺産活性化協議会が立ち上げられ、多様な取り組みが始まっています。

**全質問項目**

- ◆【日本遺産】について



**問** 高齢者世帯の外出支援  
かざり 毅 議員



録画映像はこちら

**Q** 高齢者世帯の外出支援としての公共交通のあり方に関して3点伺う。

- ① 高齢者世帯へのタクシー代の補助について
- ② まほろば号の運行を交通弱者の移動や社会参加の手段に限定した運行にするよう、実際に議論が進んでいるのか。
- ③ 自動車を運転せずとも外出できる手段の確保をどのように働きかけているのか。

**A** 理事 ① タクシー代の補助については、近隣市の状況なども見ながら調査研究を進めます。

② 市内公共交通の要として、まほろば号の果たす役割は重要であることから、高齢者への移動支援の視点も含め、運行の適正化に向けて調査検討や事業者など関係機関と協議を行っているところですが、また、介護予防教室も再開されましたので、今後開催場所や開催時刻などをまほろば号の運行に合わせる検討も行っていきます。



③ 地域公共交通活性化協議会においても、まほ

**全質問項目**  
◇ 高齢者世帯の外出支援について  
◇ 「新しい公共」について



**問** 本市の産業と観光活性化は  
はしもと 健 議員



録画映像はこちら

**Q** 産業と観光活性化について3点伺う。

- ① 「梅」プロジェクト推進事業における梅の生産量や商品開発の現状について。
- ② 観光資源の有効活用と、滞在型観光への注力について。
- ③ 坂本八幡宮のPRに行政の支援が必要と思うが見解は。

**A** 理事 ① 「梅」プロジェクトでは、福岡県立福岡農業高校と各企業との共同開発や、様々な企業が商品開発を行い、共通のロゴマークを用いてブランドイングを行うとともに、ふるさと納税の返礼品にも提供されています。今年は約1500kgの梅の実を収穫しました。

② 史跡解説ボランティアやレンタサイクル、古民家ホテルの整備、コロナ減観光ルートの整備やバスツアー、そして日本遺産に関わるストーリーを用いて「点ではなく線による周遊観光」に取り組み、観光客の滞在時間や観光消費額の増加につなげたいと考えています。



③ 観光動画制作し、市の情報コンテンツを使用しPRに力を入れています。さらに、周辺で活動を行う団体の事業にも積極的に協力を行い、今後も連携していきたいと考えています。

**全質問項目**  
◇ 産業と観光活性化について



**問** 大型マンション建設後の道路対策  
すやま 良尚 議員



録画映像はこちら

**Q** 大型マンション建設や宅地開発により、人口が増えることは本市にとってはプラスである一方、道路整備が追いついていない状況も散見される。そこで、市内における大型マンションや宅地開発の建設完了後を想定し、早い段階で周辺地域の課題解決に向けた取組が必要であると考え2点伺う。

① 市内における大型マンションや宅地開発の現状について。

② 通古賀区内に建設中の大型マンション完成後周辺地域において車の出入りが増え、混雑や事故が起る可能性を踏まえた、今後の対策について。

**A** 部長 ① 20戸以上の規模が大きいマンションや宅地開発としては、通古賀地区のマンションが2棟(103戸と65戸予定)、国分三丁目(38戸ほど)と坂本三丁目(130戸前後)については戸建て住宅が計画されています。

② マンションの建設による交通量の増加と歩行者の増加が予想されます。マンションの周辺道路を含めて、通古賀三丁目地区の交通安全対策に関して、地元や警察などと協議を行いながら、状況に応じた対策を講じていく必要があると考えています。



**全質問項目**  
◇ 市内大型マンション建設及び宅地開発に伴う周辺地域の環境整備について



**問** 「声掛け」で地域を元気にしよう  
いまいずみ 義文 議員



録画映像はこちら

**Q** 小学生の登下校時の見守りを行う中で、地域のコミュニケーションシロムづくりにおける「声掛け」の効果を実感している。そこで、コミュニティを活性化させるためには、地域ぐるみで子どもたちに関わることで大事であるという観点から2点伺う。

① 自治会や各団体への応援体制づくりについて。

② 人が外に出やすく仕組みづくりについて。



**A** 部長 ① 地域の見守り活動や挨拶等の「声掛け」に多くの市民が参画することが、活気ある地域づくりにつながるものと考えています。毎月、自治会と情報交換を行うとともに地域の課題を共有し、多くの市民や各種団体の皆様が、様々な地域活動に参加しやすい環境づくりを目指しています。

② 誰もが役割を持ち、活躍できる地域の環境・美化活動、防犯・防災活動、福祉活動など、市民が主体となる取り組みを推進しています。今後も、太宰府に住んでよかったと感じられる、全世代に居場所と出番のある太宰府を目指し、市民が地域のまちづくりに積極的に参加できる機会の創出を図っていきたく考えています。

**全質問項目**  
◇ 声掛けによる地域コミュニティの活性化について  
◇ 道路状況改善について  
◇ 持続可能な中学校の部活動のあり方について